

東京の観光情報案内

東京の観光公式サイト GO TOKYO

東京のオフィシャル観光サイトで、東京の観光ルート、有名スポットへの行き方楽しみ方、宿泊先検索、イベント情報など東京都全域のあらゆる観光情報を掲載しています。

⇒ <https://www.gotokyo.org/>

東京観光情報センター

東京の観光案内、観光地・観光ルートの紹介、交通アクセスの案内、都内宿泊施設の紹介等を行っております。また、観光パンフレット、マップ等も数多く取り揃えております。

【設置場所】 東京都庁第一本庁舎1階

新宿南口交通ターミナル（バスタ新宿）3階

羽田空港国際線旅客ターミナルビル2階

京成上野駅改札口前

ecute 立川3階

⇒ <https://www.gotokyo.org/jp/plan/tourist-info-center/index.html>

表紙 (左上) 六義園、(右上) 浜離宮恩賜庭園
(左下) 旧古河庭園、(右下) 殿ヶ谷戸庭園

入園料等の情報は、令和7年10月時点のものです。最新情報は各施設のウェブサイト等でご確認ください。

東京の日本庭園 2026

令和7年12月発行

企画 東京の日本庭園 おもてなし協議会

編集・発行 公益財団法人 東京都公園協会

印刷 シンソー印刷株式会社



東京の日本庭園
おもてなし協議会



リサイクル適性(B)

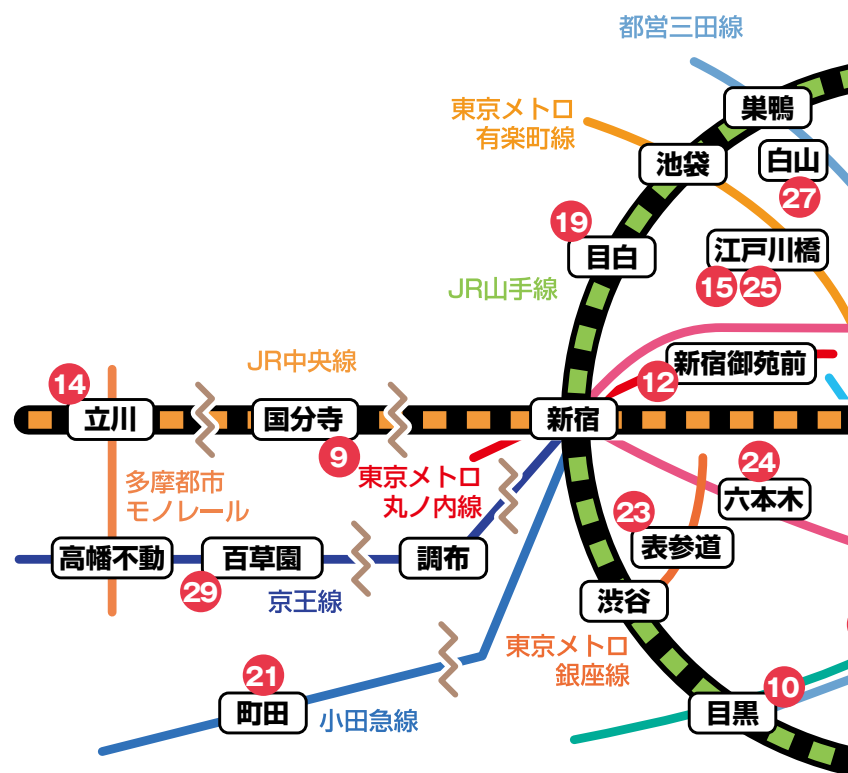
この印刷物は、紙質へ
リサイクルできます。

東京の 日本庭園 2026



東京の日本庭園

アクセスマップ



- | | | |
|-----------------|------------------|-----------------|
| ① 浜離宮恩賜庭園(p.1) | ⑥ 向島百花園(p.11) | ⑪ 皇居東御苑(p.21) |
| ② 旧芝離宮恩賜庭園(p.3) | ⑦ 清澄庭園(p.13) | ⑫ 新宿御苑(p.23) |
| ③ 小石川後樂園(p.5) | ⑧ 旧古河庭園(p.15) | ⑬ 東京国立博物館(p.25) |
| ④ 六義園(p.7) | ⑨ 殿ヶ谷戸庭園(p.17) | ⑭ 国営昭和記念公園 |
| ⑤ 旧岩崎邸庭園(p.9) | ⑩ 東京都庭園美術館(p.19) | 日本庭園(p.27) |

～東京の日本庭園おもてなし協議会とは～
東京の日本庭園が持つ魅力を発信することで、都民や東京を訪れる方に広くその魅力を知っていただくため、都立・国公立・民間等の庭園により設立した協議会です。



- | | | |
|-------------------|---------------|------------------|
| ⑮ 肥後細川庭園(p.29) | ⑳ 山本亭(p.39) | ㉕ ホテル椿山荘東京(p.49) |
| ⑯ 台東区立朝倉彫塑館(p.31) | ㉑ 薬師池公園(p.41) | ㉖ 旧安田楠雄邸庭園(p.51) |
| ⑰ 旧安田庭園(p.33) | ㉒ 八芳園(p.43) | ㉗ 小石川植物園(p.53) |
| ⑱ 池田山公園(p.35) | ㉓ 根津美術館(p.45) | ㉘ 遼溪園(p.55) |
| ⑲ 目白庭園(p.37) | ㉔ 毛利庭園(p.47) | ㉙ 京王百草園(p.57) |

江戸の潮風そよぐ浜御殿 はま り きゅう おん し てい えん 浜離宮恩賜庭園

特別名勝・特別史跡「旧浜離宮庭園」

URL <https://www.tokyo-park.or.jp/park/hama-rikyu/>



電車●〔大手門口〕都営大江戸線「汐留」
〔築地市場〕・ゆりかもめ「汐留」下車徒歩7分、JR山手線・京浜東北線・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋」下車徒歩12分
〔中の御門口〕都営大江戸線・ゆりかもめ「汐留」下車徒歩5分、JR山手線・京浜東北線「浜松町」下車徒歩15分

車●築地方面から新大橋通り「汐先橋」交差点手前を左折(大手門橋渡る)

駐車場台数(料金)●〔大手門口〕中型・大型観光バス6台・身体障害者の方等の車10台(無料)

※但し、一般の乗用車は付近にございます公共駐車場をご利用ください。また、中の御門口に駐車場はございません。

住所●中央区浜離宮庭園1-1
問い合わせ先●03-3541-0200
開園時間●9:00~17:00(入園は16:30まで)
休園日●12月29日~1月1日
入園料●一般300円、65歳以上150円
(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)年間パスポート一般1,200円、65歳以上600円

海水を引き入れた潮入の池と二つの鴨場を伝え、江戸時代には、江戸城の「出城」としての機能を果たしていた徳川將軍家の庭園です。承応3(1654)年、徳川將軍家の鷹狩場に、四代將軍家綱の弟松平綱重が、海を埋め立てて別邸を建てました。その後、この屋敷は將軍家の別邸となり、「浜御殿」と呼ばれるようになりました。以来、歴代將軍によって幾度

かの造園と改修工事が行われ、現在の姿の庭園が完成しました。明治維新ののちは皇室の離宮となり、名称を「浜離宮」と変えました。昭和20(1945)年11月3日、東京都に下賜され、昭和21(1946)年4月から「浜離宮恩賜庭園」として公開されました。その後、昭和27(1952)年に、国の特別名勝・特別史跡に指定されました。

見どころ・特徴

■ 潮入の池

海水を引き入れ、潮の干満によって池の趣を変える様式。都内にある江戸の庭園では唯一現存する海水の池です。東京湾の水位の干満に従って水門を開閉し、池の水の出入りを調整しています。池にはボラをはじめ、クロダイ、ハゼ、ウナギなどの海水魚が棲息しています。

■ 三百年の松

六代將軍家宣が庭園を大改修したとき、その偉業をたたえて植えられたと言われる松。太い枝が低く張り出し、今もなお堂々たる姿を誇っています。

■ 御茶屋群

「中島の御茶屋」では、土産品の販売やなりきり抹茶セット(有料)をお楽しみいただけます。

11代將軍家斉の時代に建てられ、戦災で

焼失した茶屋群のうち、平成22年に「松の御茶屋」が、平成27年に「燕の御茶屋」、平成30年には「鷹の御茶屋」が復元され、往時をしのばせる景色がよみがえりました。

花 暦

- 1月●ロウバイ
- 2月~3月●ウメ、ナノハナ
- 3月~4月●ハクモクレン、ソメイヨシノ
- 4月●ハナモモ、ヤエザクラ、フジ
- 5月~6月●サツキ
- 6月●ハナショウブ
- 6月~7月●アジサイ
- 7月~9月●ノウゼンカズラ
- 7月~8月●サルズベリ
- 8月~9月●スイフヨウ
- 9月●ヒガンバナ
- 9月~10月●キバナコスモス、ハギ、キンモクセイ
- 10月●コスモス
- 11月●ハゼノキ(紅葉)
- 11月~12月●モミジ(紅葉)、トウカエデ(紅葉)、サザンカ
- 11月~2月●雪吊り、霜除け、こも巻き



三百年の松



鷹の御茶屋

JR 浜松町駅から徒歩1分、都会のオアシス
ぎゅう しば り きゅう おん し てい えん
旧芝離宮恩賜庭園

国指定名勝「旧芝離宮庭園」

URL <https://www.tokyo-park.or.jp/park/kyu-shiba-rikyu/>



電車●JR山手線・京浜東北線「浜松町」下車北口から徒歩1分、
都営浅草線・大江戸線「大門」下車B2出口から徒歩3分

住 所●港区海岸1-4-1 問い合わせ先●03-3434-4029
開園時間●9:00~17:00 (入園は16:30まで)
休 園 日●12月29日~1月1日
入 園 料●一般150円、65歳以上70円 (小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般600円、65歳以上280円

今に残る最も古い大名庭園のひとつ。
古典的な「池泉を中心とした回遊式庭園」で、その地割りと石組は秀逸です。
かつては海面でしたが埋め立てられ、延宝6 (1678) 年に老中・大久保忠朝の邸地となり、忠朝は上屋敷を建てる際に、藩地の小田原から庭師を呼び寄せて作庭し、これを「楽壽園 (らくじゅえん)」と命名しました。その後数氏を経て、大正13 (1924) 年1月、昭和天皇のご成婚記念として、東京市 (都) に下賜され、同年4月に「旧芝離宮恩賜庭園」として一般公開されました。

花 暦

1月~2月●ロウバイ
2月~3月●ウメ、ツバキ
3月~4月●ボケ、ユキヤナギ、サクラ
4月●ハナカイドウ
4月~5月●ツツジ、シャクナゲ、フジ
5月~6月●サツキ
6月~7月●アジサイ
7月~8月●サルスベリ
8月~9月●ハギ、ヒガンバナ
9月~10月●キンモクセイ
10月~11月●ツワブキ
11月~12月●モミジ (紅葉)
11月~2月●雪吊り、冬囲い

見どころ・特徴

■ 大泉水

庭園の要となる約 9,000㎡の広さを持つ池です。昔は海水を引き入れた潮入りの池でしたが、現在は淡水の池になっています。池は中島と浮島を配して海と湖を形どり、一面には小さな州浜が設けられています。

■ 西湖の堤

中国の杭州 (現在の浙江省) にある西湖の堤を模した石造りの堤です。古来、詩歌や絵画の題材として珍重されました。堤の先にある中島の石組は、楽壽園の頃からのものです。

■ 大山

庭園内のもっとも高い築山で、頂上からの眺めが見事です。また、左右の築山と構成される稜線の変化は、池の対岸から見ると味わい深いものがあります。



大泉水



西湖の堤



大山からの景色



今に残る水戸徳川家ゆかりの名園
こ い し かわ こう らく えん
小石川後楽園
特別史跡・特別名勝「小石川後楽園」

URL <https://www.tokyo-park.or.jp/park/koishikawakorakuen/>



電車 ●都営大江戸線「飯田橋」下車徒歩3分、JR総武線各駅停車「水道橋」「飯田橋」下車徒歩8分、東京メトロ東西線・有楽町線・南北線「飯田橋」下車徒歩8分、東京メトロ丸ノ内線・南北線「後楽園」下車徒歩8分

住 所 ●文京区後楽1-6-6 問い合わせ先 ●03-3811-3015
開園時間 ●9:00～17:00 (入園は16:30まで)
休 園 日 ●12月29日～1月1日
入 園 料 ●一般300円、65歳以上150円 (小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般1,200円、65歳以上600円

江戸時代初期、寛永6(1629)年に御三家の一つである水戸徳川家藩祖の徳川頼房公が、水戸藩の江戸屋敷の庭園として造成を始め、二代藩主の光圀公の代に

完成した庭園です。光圀公は作庭にあたり、明の遺臣朱舜水の意見を用い、「円月橋」や「西湖の堤」など中国の景観を取り入れ、園名も舜水の命名によるなど中国趣味豊かな庭園です。庭園の様式は回遊式築山泉水庭園であり、文化財保護法により国から特別史跡・特別名勝の重複指定を受けた江戸時代を代表する名園です。



ハナショウブと九八屋

花 暦

1月 ●ロウバイ、フクジュソウ
2月～3月 ●ウメ、ツバキ
3月～4月 ●シダレザクラ、サクラ
5月 ●フジ、カキツバタ、スイレン
6月 ●ハナショウブ
7月～8月 ●ハス
9月 ●ヒガンバナ
10月 ●ツワブキ
11月～12月 ●モミジ (紅葉)
11月～2月 ●雪吊り、こも巻、霜よけ

見どころ・特徴

多彩な景観

大泉水を中心に海(湖)・山・川・田園などの景色が巧みに表現され、随所に日本と中国の名所を名づけた景観を配置し、歩を進めるごとに移り変わる景色を、四季を彩る花とともに楽しむことができます。歴史的にも、江戸初期から中期の庭園様式を今に残す貴重な庭園です。

特に、11月下旬から12月上旬にかけて、園内約500本のモミジなどの紅葉する美しい景色には都心で紅葉狩りができるスポットとして定評があります。

円月橋・得仁堂

円月橋は、二代藩主徳川光圀公が招聘した明の遺臣朱舜水の設計と伝えられ、水に映る姿と合わせると満月に見えることからその名が付けられました。また、光圀公は、史記「伯夷列伝」を読み感銘を受け、後に伯夷・叔斉の木像を安置するために得仁堂を造りました。円月橋、得仁堂ともに創建当時から残る貴重な建造物です。

稲田・梅林

光圀公はその嗣子・綱條の夫人に農民の苦勞を教えるため、園内に田園を作りました。現在は、地元文京区の小学生が田植え、稲刈りを行い、伝統行事を継承しています。

また、光圀公は梅を愛し、雅号を「梅里」としたほどでした。園内梅林には約120本の紅梅・白梅の梅の木があり、2月から3月の花の見ごろには、辺り一面に春の訪れを告げる馥郁(ふいく)たる香りが漂います。



円月橋



ウメ



和歌の心息づく雅な大名庭園

六義園

特別名勝「六義園」

URL <https://www.tokyo-park.or.jp/park/rikugien/>



電車●JR山手線・東京メトロ南北線「駒込」
下車徒歩約7分
都営三田線「千石」下車徒歩10分

住所●文京区本駒込6-16-3 問い合わせ先●03-3941-2222
開園時間●9:00～17:00（入園は16:30まで）
休園日●12月29日～1月1日
入園料●一般300円、65歳以上150円（小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料）
年間パスポート一般1,200円、65歳以上600円

五代将軍・徳川綱吉の信任が厚かった川越藩主・柳澤吉保が元禄15（1702）年に築園した和歌の趣味を基調とする「回遊式築山泉水庭園」で、池をめぐる園路を歩きながら移り変わる景色を楽しむ繊細で温かな日本庭園です。江戸時代の大名庭園の中でも代表的なもので、明治時代に入って、三菱の創業者である岩崎彌太郎の別邸となりました。その後、昭和13（1938）年に東京市（都）に寄付され、昭和28（1953）年に国の特別名勝に指定された貴重な文化財です。

花 暦

1月～2月●ロウバイ
1月～3月●ツバキ
2月●ウメ
2月～3月●サンシュユ
3月●コブシ、シダレザクラ
4月●ソメイヨシノ、ヤマザクラ、ヤマブキ、ツツジ、ドウダンツツジ
5月～6月●サツキ、ヤマアジサイ
6月●ガクアジサイ
7月～8月●タマアジサイ、サルスベリ
8月～9月●ハギ
9月 ヒガンバナ
10月～11月●サザンカ
11月～12月●モミジ（紅葉）
11月～2月●雪吊り、冬囲い

見どころ・特徴

■ しだれ桜

庭園の中心部に続く内庭大門をくぐると、シダレザクラが植えられており、3月末に枝いっぱいの薄紅色の花を咲かせます。流れ落ちる滝を彷彿させるその姿は圧巻です。

■ 藤代峠

園内で一番高い築山で、標高35m。いたゞきは「富士見山」と呼ばれ、そこからは素晴らしい展望が開けています。紀州（現在の和歌山県）にある同名の峠から名づけられました。

■ 渡月橋

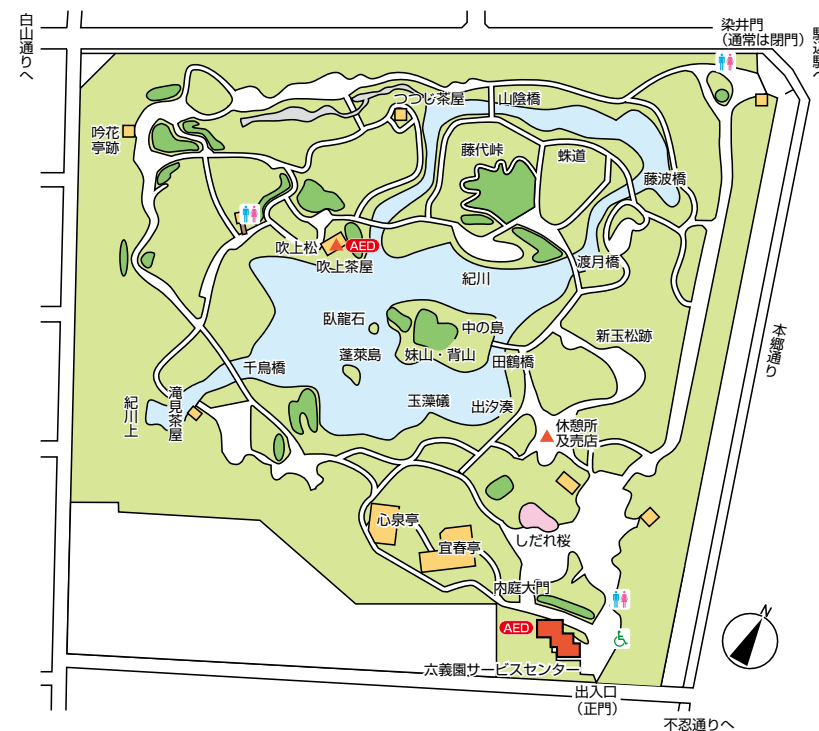
「和歌のうら 蘆辺の田羅の 鳴くこゑに 夜わたる月の 影ぞさびしき」の歌から名づけられた石の橋。2枚の大岩の重量感が、あたりの雰囲気を引き締めています。



昼のシダレザクラ



渡月橋



明治のロマンが漂う洋館と芝庭の庭園

きゅう いわ さき てい てい えん

旧岩崎邸庭園

重要文化財「旧岩崎家住宅」

URL <https://www.tokyo-park.or.jp/park/kyu-iwasaki-tei/>



電車●東京メトロ千代田線「湯島」下車徒歩3分、東京メトロ銀座線「上野広小路」下車徒歩10分、都営大江戸線「上野御徒町」下車徒歩10分、JR山手線・京浜東北線「御徒町」下車徒歩15分

住所●台東区池之端1-3-45 問い合わせ先●03-3823-8340

開園時間●9:00～17:00 (入園は16:30まで)

休園日●12月29日～1月1日

入園料●一般400円、65歳以上200円 (小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般1,600円、65歳以上800円

三菱財閥創業者岩崎彌太郎の長男で、第三代社長の岩崎久彌の邸宅として、明治29年に竣工しました。園内には、洋館、和館、撞球室の3棟が現存します。洋館と撞球室の設計は、鹿鳴館の建築家として有名なジョサイア・コンドル。書院造りを基調とする和館は、現在では大広間1棟のみが残っています。建物、庭園共に和洋併置式とされ、「芝庭」を持つ近代庭園の初期の形を残しています。敷地全体が国指定重要文化財です。

花 暦

- 1月●カンツバキ、スイセン
- 2月●フクジュソウ、クリスマスローズ
- 3月～4月●ソメイヨシノ・ボタン・ツツジ
- 5月～6月●アジサイ・アカンサス・オドリコソウ・サツキ
- 7月～8月●ギボウシ・モッコク (花)
- 9月～10月●ツバキ・モッコク (実)
- 11月～12月●イチヨウ (黄葉)・モミジ (紅葉)

見どころ・特徴

洋館

17世紀の英国ジャコビアン様式の見事な装飾が随所に見られ、ルネサンスやイスラム風のモチーフなど複数の様式を折衷しながらも整然としたデザインとなっています。2階の壁紙には貴重な金唐革紙の壁紙が貼られた客室があり、往時の豪華な室内装飾がうかがえます。

和館

床の間や襖には、橋本雅邦が下絵を描いたと伝えられる日本画など障壁画が残っています。また、部材のひとつひとつに、現在では入手困難な木材が使われています。

撞球室

ジョサイア・コンドル設計の撞球室(ビリヤード場)は、当時の日本では非常に珍しいスイスの山小屋風の造りになっています。ベランダ部分に立つ柱の刻みや柱頭部分には凝った装飾が施され、コンドルの意匠を見ることができます。



洋館



和館縁側



撞球室



※令和5年3月時点

200年の歴史、江戸の花園
むこう じま ひゃっ か えん
向島百花園
国指定名勝・史跡「向島百花園」

URL <https://www.tokyo-park.or.jp/park/mukojima-hyakkaen/>



電車●東武スカイツリーライン「東向島」下車徒歩8分
京成電鉄押上線「京成曳舟」下車徒歩13分
都営バス●亀戸・日暮里(里22)「百花園前」下車徒歩3分

住 所●墨田区東向島3-18-3 問い合わせ先●03-3611-8705
開園時間●9:00～17:00 (入園は16:30まで)
休 園 日●12月29日～1月3日
入 園 料●一般150円、65歳以上70円 (小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般600円、65歳以上280円

文化・文政期(1804～1830年)、骨董商を営んでいた佐原鞠塙が、交遊のあった江戸の文人墨客の協力を得て、花の咲く草木観賞を中心とした花園として開園しました。百花園とは、一説では「四季百花の乱れ咲く園」という意味でつけられたとされます。開園当初はウメが主体でしたが、後に詩経や万葉集など中国・日本の古典に詠まれている有名な植物を集め、四季を通じて花が咲く庭となりました。庶民的で文人趣味豊かな庭として、大名庭園とは異なった美しさが魅力の庭園です。

花 暦

1月～2月●スイセン、フクジュソウ
2月～3月●ウメ、ゲンペイモモ
3月～4月●カタクリ、キブシ、イカリソウ
4月～5月●アヤメ、フジ、エビネ、ハコネウツギ
5月～6月●ホタルブクロ、ハナショウブ
6月～7月●アジサイ、オカトラノオ
7月～8月●ハンゲショウ、クズ、ユウガオ
8月●ニホンハッカ
8月～9月●ヘビウリ、ナンパンギセル、モミジアオイ
9月～10月●ハギ、ワレモコウ、フジバカマ
10月～11月●カラタチバナ(実)、ススキ
11月～12月●ツワブキ、オギ、コブクザクラ、カリン(実)
11月～2月●雪吊り、冬囲い
12月～1月●ナンテン、サザンカ、春の七草籠

見どころ・特徴

■ 四季の花々

向島百花園は、詩経や万葉集に詠まれている植物を集めて四季折々の花が咲くように作られた江戸の花園です。園内各所を彩る野草や園芸植物をはじめ、フジやクズ、アケビ等の花の棚や花木等、日々うつろう庭園風景をお楽しみいただけます。

■ 萩のトンネル

全長約30メートルに及ぶトンネルにミヤギノハギを沿わせて仕立てた「萩のトンネル」は、当園の名物になっています。例年9月中旬から下旬にかけて見ごろを迎え、白、ピンク、絞りの三色のハギが華やかにトンネルを彩ります。冬にはハギが刈り込まれ、竹で編まれたトンネルの美しさがお楽しみいただけます。



萩のトンネル



■ 町人文化が息づく庭園風景

向島百花園は、築山や景石等で造り込まれた大名庭園の庭とは異なり、江戸文化が花開いた文化・文政期に文人墨客の協力を得て、町人によって造られた庭園です。どこか懐かしさを感じるような、当園ならではの風景をお楽しみください。近年では桑の茶屋跡からの、東京スカイツリー®を臨む景色も人気です。



春の園内



冬景色

全国から集めた名石が彩る回遊式林泉庭園

清澄庭園

東京都指定名勝「清澄庭園」

URL <https://www.tokyo-park.or.jp/park/kiyosumi/>



電車●都営地下鉄大江戸線・東京メトロ半蔵門線「清澄白河」下車 A3出口 徒歩3分

住所●江東区清澄3-3-9
問い合わせ先●03-3641-5892
開園時間●9:00～17:00(入園は16:30まで)
休園日●12月29日～1月1日
入園料●一般150円、65歳以上70円
(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)年間パスポート一般600円、65歳以上280円

見どころ・特徴

■ 泉水

広い池に三つの中島を配し、数寄屋造りの建物(涼亭)、富士山、木々や島の影を水面に映す庭園の要です。磯渡りは、広々とした池の眺めだけでなく、歩を進めるたびに景観の変化を楽しめるように配慮されています。昔は隅田川から水を引いていたので、東京湾の潮の干満によって景観が微妙に変化したと言われていますが、現在は雨水でまかっています。



大泉水から望む富士山

■ 名石

岩崎家が自社の汽船を用いて全国の産地から名石を集め、園内に配置しました。代表的な石には、伊豆石、伊予青石、生駒石、佐渡赤玉石、真鶴石、備中御影石などが見られ、ながら「石庭」の観を呈しています。

■ 大正記念館

大正天皇の葬儀に用いられた葬場殿を移築したもの。最初の建物は戦災で焼失してしまいましたが、昭和28(1953)年に貞明皇后の葬場殿の材料を使って再建され、平成元(1989)年4月には全面改築されました。集会場として利用できます。



大正記念館



伊豆磯石(手前)と摂津御影石(奥 水鉢)



紀州青石

花 暦

1月～2月●ツバキ、ウメ、フクジュソウ、スイセン
3月～4月●カンヒザクラ、サトザクラ、ツツジ、アセビ、サンシュユ、ユキヤナギ
5月～6月●サツキ、ハナショウブ、アジサイ
7月～8月●サルスベリ、タイワンニンジンボク
9月～10月●ハギ、ヒガンバナ、シュウメイギク
11月～1月●サザンカ、ツワブキ、ハゼノキ(紅葉)
11月～2月●雪吊り



和と洋が調和する大正の庭
きゅう ふる かわ てい えん
旧古河庭園

国指定名勝「旧古河氏庭園」

URL <https://www.tokyo-park.or.jp/park/kyu-furukawa/>



電車 ●JR京浜東北線「上中里」下車徒歩7分
東京メトロ南北線「西ヶ原」下車徒歩7分
JR山手線「駒込」下車徒歩12分



紅葉期の日本庭園

住 所 ●北區西ヶ原1-27-39 問い合わせ先 ●03-3910-0394
開園時間 ●9:00～17:00 (入園は16:30まで)
休 園 日 ●12月29日～1月1日
入 園 料 ●一般150円、65歳以上70円 (小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般600円、65歳以上280円

武蔵野台地の地形を活かし、北側の小高い丘には洋館を建て、斜面には洋風庭園、低地には日本庭園を配した「和」と「洋」の調和が魅力の庭園です。古河家三代目当主・古河虎之助により造られた現在の建物と庭園は、大正初期の原型を留める貴重な存在です。洋館と洋風庭園は明治から大正にかけ、鹿鳴館や旧岩崎邸庭園洋館などを手がけた英国人建築家ジョサイア・コンドルの設計。日本庭園は、京都の著名な庭師・植治こと小川治兵衛が作庭しました。

花 暦

2月 ●ウメ
3月 ●ツバキ、ユキヤナギ
4月 ●シダレザクラ、タチツボスミレ、コボシ、ソメイヨシノ、ヤマザクラ、ヤマブキ、シャガ、ドウダンツツジ、ボタン、モッコウバラ、ツツジ
5月 ●ジャーマンアイリス、春バラ、ブラシノキ
6月 ●クチナシ、サツキ
10月 ●秋バラ
11月 ●ハゼノキ (紅葉)、モミジ (紅葉)
11月～2月 ●雪吊り、冬囲い
12月 ●イチョウ (黄葉)、サザンカ

見どころ・特徴

■ 洋館

ジョサイア・コンドル最晩年の作で、躯体は煉瓦造、外壁は真鶴産の新小松石 (安山岩) の野面積で覆われ、屋根は天然スレート葺き、地上2階・地下1階となっています。

■ 洋風庭園

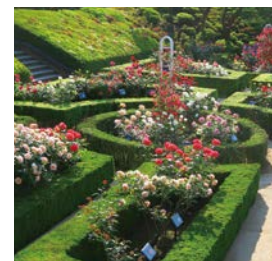
ジョサイア・コンドル設計で、左右対称の幾何学模様の刈込のあるフランス整形式庭園と、石の欄干や石段・水盤など、立体的なイタリア露壇式庭園の技法を合わせ、バラと洋館が調和した絵画的な景観美となっています。

■ 日本庭園

小川治兵衛作庭で、心字池を中心に枯滝・大滝・中島を配しています。冬のマツの雪吊とコモ巻・ソテツの霜除は風物詩となっています。また夏の大滝の水音と秋の紅葉もおおすすめです。



洋館



洋風庭園



日本庭園

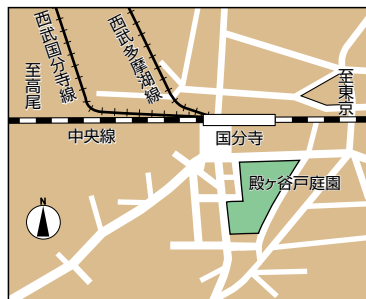


崖線を利用した和洋折衷の回遊式林泉庭園

とのがやとてい えん 殿ヶ谷戸庭園

国指定名勝「殿ヶ谷戸庭園（随宜園）」

URL <https://www.tokyo-park.or.jp/park/tonogayato/>



電車 ●JR中央線・西武多摩湖線・国分寺線
「国分寺」下車 南口徒歩2分

住 所 ●国分寺市南町2-16 問い合わせ先 ●042-324-7991
開園時間 ●9:00～17:00（入園は16:30まで）
休 園 日 ●12月29日～1月1日
入 園 料 ●一般150円、65歳以上70円（小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料）
年間パスポート一般600円、65歳以上280円

武蔵野の自然の地形、すなわち段丘にできた谷を巧みに利用した「回遊式林泉庭園」。崖の上の明るい芝生地と崖下の湧水池、樹林、竹林で雰囲気が一変する造園手法が見所のひとつです。大正2年に江口定條（後の南満洲鉄道副総裁）の別荘として整備され、昭和4年に三菱財閥の岩崎家の別邸となりました。昭和40年代の開発計画で消滅しかけてましたが、地元の住民運動で、昭和49年に東京都が買収・整備して都立庭園として現在に至ります。

花 暦

2月～3月 ●ツバキ、ウメ
3月～4月 ●カタクリ、アセビ
4月～5月 ●フジ
5月～6月 ●ツツジ、ホタルブクロ
6月～7月 ●アジサイ
7月～8月 ●ヒメヒオウギスイセン、レンゲショウマ
8月～9月 ●ヒガンバナ、ハギ
9月～10月 ●ホトトギス、スイフヨウ
11月～12月 ●ツワブキ、サザンカ、モミジ（紅葉）
11月～2月 ●雪吊り
12月～1月 ●ロウバイ

見どころ・特徴

■ 武蔵野の自然と湧水

国分寺駅近隣という地にありながら、国分寺崖線の自然地形と武蔵野の自然を活かし巧みに造られた殿ヶ谷戸庭園。現在も崖線から清らかな湧水が次郎弁天池へ流れ込んでおり、その湧水源を間近にご覧いただけます。

■ 四季折々の山野草と木々

武蔵野の自然を色濃く残す殿ヶ谷戸庭園では、春のカタクリやシュンランといった花をはじめ、武蔵野の自然を感じられる、多彩な野草や木々の風景をお楽しみいただけます。

■ 紅葉亭からの風景

岩崎家の別邸時代に造られた紅葉亭。その名のとおり、秋の紅葉期には次郎弁天池にかかるイロハモミジの見事な紅葉の眺望がご覧いただけます。



次郎弁天池を臨む



山野草（カタクリ）



紅葉



緑の庭園に建つアール・デコ様式的美術館
とう きょう と てい えん び じゅつ かん
東京都庭園美術館

重要文化財旧朝香宮邸

URL <https://www.teien-art-museum.ne.jp>



1933年(昭和8)建設されたアール・デコ様式の旧朝香宮邸、その空間をいかした展覧会と庭園が調和した東京都庭園美術館は、1983年(昭和58)の開館以来、皆様に親しまれてきました。2014年(平成26)ホワイトキューブのギャラリーを備えた新館が完成して新たな創造空間が加わり、文化財保護と新しい価値創造を目指して芸術作品鑑賞の機会を提供してまいります。

住所 ●〒108-0071 東京都港区白金台5-21-9
問い合わせ先 ●050-5541-8600 (ハローダイヤル)
開園時間 ●10:00~18:00 (入館は閉館の30分前まで)
休園日 ●月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、年末年始(12月28日から1月4日)
入館料 ●展覧会によって異なります。詳細はホームページをご覧ください。入館料には庭園入場料を含みます。
庭園のみの ●一般200円(160円)、大学生(専修学校・各種学校含む)160円(120円)、
入場料 中・高生・65歳以上100円(80円)
()内は20名以上の団体料金。小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料
駐車場料金 ●普通自動車1回1,500円、大型車1回4,000円 ※時間制限なし。大型車は要事前予約



花 暦

3月下旬 ●桜

~4月上旬

11月下旬 ●紅葉

~12月上旬

(例年、桜と紅葉の時期の週末は、20時まで夜間開館し、庭園もライトアップ)

見どころ・特徴

本館: 東京都庭園美術館本館は、1933(昭和8)年に朝香宮邸として建てられ、平成27年(2015)には国の重要文化財に指定されました。庭園も宮邸時代の面影を残しており、芝生で覆われた開放感ある芝庭と、築山と池を備え、起伏にとんだ日本庭園、花木が見られる西洋庭園と、四季折々の変化を楽しめます。

日本庭園内の茶室「光華」も重要文化財に指定されており、天井が高く、全体に明るく、開放的な造りとなっているのが特徴です。



皇室のお庭－都心で自然に親しむ

皇居東御苑

特別史跡「江戸城跡」

URL <https://www.kunaicho.go.jp>



果樹古品種園



電車●〔大手門〕東京メトロ丸ノ内線・東西線・千代田線・半蔵門線・都営三田線「大手町」下車徒歩約5分、JR「東京」下車徒歩約15分

〔平川門・北桔橋門〕東京メトロ東西線「竹橋」下車徒歩約5分

見どころ・特徴

■ 上皇上皇后両陛下のお心遣いに満ちたお庭

二の丸池では、上皇陛下のご提案により、日本のニシキゴイとインドネシアのヒレナガゴイとの交配によって生まれ、上皇上皇后両陛下により放流された、長いヒレが美しいヒレナガニシキゴイが泳いでいます。緑豊かな景観の中、天守台、櫓、門、番所などの江戸城の遺構が見られます。



二の丸庭園の流れ（新雑木林）



ヒレナガニシキゴイ（二の丸池）



江戸城天守復元模型

住 所 ●千代田区千代田1番
問い合わせ先 ●03-3213-1111
開園時間 ●9:00～17:00（時期により異なる）
休 園 日 ●月・金曜日、12月28日～1月3日
入 園 料 ●無料

皇居東御苑は、皇居の中にある皇室のお庭で、一般の方々にも自由に入園いただけます。

草木に分かりやすい名札がつけられ、近代以前の日本で食されていた古い品種が植えられた果樹園、流れがあって、昆虫や野鳥が好む落葉広葉樹が植えられた雑木林など、入園者に、四季折々の多様な景色を楽しんでもらえるように、上皇上皇后両陛下のお考えにより様々な工夫が凝らされています。

花 暦

1月～2月 ●ウメ、ツバキ、ロウバイ、リュウキュウカンヒザクラ、カンザクラ、マンサク、ウグイスカグラ、ボケ、フクジュソウ
3月～4月 ●サンシュユ、コバシ、ソメイヨシノ、サトザクラ、ミツマタ、パイモ、エビネ、キンラン、ギンラン、チゴユリ、シャガ
5月～6月 ●ヤマボウシ、フジ、ヤマツツジ、ハマナス、モッコウバラ、サツキツツジ、アジサイ、ナスヒオウギアヤメ、ヒツジグサ、フタリシズカ、ハナショウブ、ホタルブクロ
7月～8月 ●サルスベリ、ムクゲ、ヤマユリ、ナツツバキ、ヒマワリ（はるかのひまわり）、コバギボウシ、ノカンゾウ、アサザ
9月～10月 ●キンモクセイ、ジュウガツザクラ、ヤマハギ、ヒガンバナ、ホトギス、ノコンギク、カモメギク、シュウメイギク
11月～12月 ●サザンカ、カンツバキ、三宝柑（実）、カブス（実）、九年母（実）、紀州ミカン（実）、ガマズミ（実）、ムラサキシキブ（実）、ナンテン（実）、マンリョウ（実）、センリョウ（実）、ツワブキ



都心のオアシスとして親しまれている大庭園

新宿御苑

重要文化財（建造物）「新宿御苑旧洋館御休所」、東京都選定歴史的建造物「新宿御苑旧御涼亭（台湾閣）」

URL <https://www.env.go.jp/garden/shinjukugyoen/>



住 所 ●新宿区内藤町11
問い合わせ先 ●03-3350-0151
開園時間 ●9:00～16:00（閉園 16:30）
※季節により変動あり
休 園 日 ●月曜日（祝休日の場合は翌平日）、
12月29日～1月3日
入 園 料 ●一般500円、65歳以上・学生250円（証
明書の提示が必要）、中学生以下無料
年間パスポート ●一般（65歳以上大学生含む）2,000
円／高校生1,000円 有効期限1年間

江戸時代（天正18年）に内藤氏が徳川家康より拝領したこの地に下屋敷を建てたことに始まり、明治5年には日本の近代農業振興を目的とする内藤新宿試験場が設置され、その後、宮内省所管の新宿植物御苑となり、明治39年に皇室庭園として整備されました。戦後になり「国民公園」として一般に開放され、現在に至ります。広さ58.3ha、周囲3.5kmの園内には、整形式庭園、風景式庭園、日本庭園などがあり、日本における明治時代の代表的近代西洋庭園です。約1万本の木々が茂る新宿御苑は春の桜、秋の紅葉など四季折々の自然が楽しめます。



電車 ●〔新宿門〕東京メトロ丸ノ内線「新宿御苑前」下車徒歩5分、東京メトロ副都心線・都営新宿線「新宿三丁目」下車徒歩5分、JR・京王線・小田急線「新宿」南口下車徒歩10分
〔大木戸門〕東京メトロ丸ノ内線「新宿御苑前」下車徒歩5分
〔千駄ヶ谷門〕JR中央・総武線各駅停車「千駄ヶ谷」下車徒歩5分、都営大江戸線「国立競技場」下車徒歩5分
車 ●首都高速4号線「外苑」出口から外苑東通りを早稲田方面に進み、「四谷三丁目」交差点を新宿方面へ左折、「新宿一丁目」の信号を左折し正面 高速出口より約10分、約1.6km
駐車場台数（料金） ●普通車200台（2時間まで600円、以後30分毎200円）

花 暦

1月～2月 ●ツバキ、ウメ、フクジュソウ、スイセン “ペーパーホワイト”
3月～4月 ●ソメイヨシノ、ヤエザクラ、ツツジ、ハナモモ、ハクモクレン、ボケ
5月～6月 ●サツキ、アジサイ、ユリノキ、ホオノキ、バラ
7月～8月 ●サルスベリ、キョウチクトウ、ムクゲ、アガパンサス
9月～10月 ●ススキ、キンモクセイ、秋バラ、ヒガンバナ、ジュウガツザクラ
11月～12月 ●キク、サザンカ、ツワブキ、カンツバキ

見どころ・特徴

■ 庭園

広々とした芝生にユリノキなどの巨樹が点在する風景式庭園、バラ花壇を中心に左右にプラタナスの並木を配した整形式庭園、回遊式の日本庭園などさまざまな様式の庭園が楽しめます。

■ 歴史的建造物

「旧洋館御休所」は明治29年に創建され、皇族の休憩所として使用されました。

「旧御涼亭」は昭和2年に、昭和天皇のご成婚記念として建てられた本格的な中国風建築です。

■ 温室

温室は明治8年から始まり、日本の温室園芸の先駆的な存在です。平成24年に全面ガラス張りのドーム型温室にリニューアルしました。バックヤードを含め、熱帯植物や絶滅危惧植物など約2,700種類の植物を栽培しています。



整形式庭園のバラ花壇



新宿御苑菊花展覧の「大作り花壇」



プラタナス並木の紅葉



写真・地図 発行：環境省新宿御苑管理事務所

春は桜、秋は紅葉を楽しめる穴場スポット

東京国立博物館

国指定重要文化財（建造物）「東京国立博物館本館」「表慶館」ほか

URL <https://www.tnm.jp/>



電車 ●JR上野駅公園口・鶯谷駅南口下車
徒歩10分
東京メトロ上野駅・根津駅、京成電鉄京成上野駅下車 徒歩15分

本館

住所 ●台東区上野公園13-9
問合せ先 ●050-5541-8600（ハローダイヤル）
開館時間 ●9:30～17:00、金・土曜日は20:00まで（入館は閉館の30分前まで。）
※庭園開放時間は9:30～17:00。
※開館時間は、変更になることがあります。※特別展の開館時間は別途ご確認ください。
※庭園は天候や整備作業等により、閉鎖もしくは散策エリアを制限する場合があります。
休館日 ●月曜日（祝休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始 ※その他、臨時休館・臨時開館あり。
入館料 ●一般1,000円、大学生500円
※障がい者とその介護者各1名、高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料
※特別展は別途観覧料が必要

見どころ・特徴

■ 約10種類もの桜

春には、オオシマザクラ、エドヒガンシダレ、ヤマザクラ、ヤエベニヒガン、カンザン、ケンロクエンキクザクラ…と、約10種類もの桜がぎゅぎゅと花を咲かせ、一年でもっとも美しい時期となります。

東京国立博物館の本館北側には、四季折々の花や紅葉に彩られる庭園があります。池を中心に由緒ある5棟の茶室を配し、博物館にかつて存在した動植物の研究部門「天産部」の名残で、珍しい樹木や野草が植えられているのが特徴です。また、5代將軍徳川綱吉が法隆寺に献納した五重塔、初代館長・町田久成の顕彰碑などが遺されています。一年を通じて開放しており、自由に散策いただけます。

■ 庭園の由来

博物館の敷地はもとは寛永寺の境内でした。現在の本館は寛永寺本坊跡にあたり、この庭も寛永寺の庭であったと考えられています。ただし、当時の面影を残している場所は少なく、東洋館北側の築山、池のごく一部、そして越前丸岡藩主有馬家の墓石のみとなっています。

■ 由緒ある茶室

5棟の茶室はそれぞれ由緒があります。たとえば、転合庵は小堀遠州が桂宮より賜った茶入「於大名」を披露するために京都伏見の六地藏に建てた茶室、応挙館は尾張国の天台宗寺院、明眼院の書院として建てられたもので、室内の障壁画は眼病で同寺に滞在した円山応挙が揮毫したものと伝えられています。

墨画は保存上の理由から収蔵庫で保管されていますが、複製の障壁画が設置されています。



本館北側にある庭園

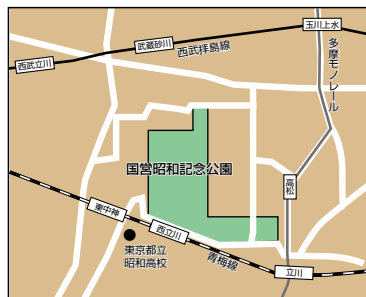


応挙館



武蔵野の樹林地を基調とした日本庭園・盆栽苑を併設－
こく えい しょう わ き ねん こう えん にほん てい えん
国営昭和記念公園 日本庭園

URL <https://www.showakinen-koen.jp/>



電車●〔西立川口〕JR青梅線「西立川」下車徒歩2分
〔立川口〕JR中央線「立川」下車徒歩18分
※上記は、国営昭和記念公園の代表的なゲートへの、最寄駅からの時間です。
車●中央自動車道「国立府中」ICから都道256号・16号を経由し、都道153号を国営昭和記念公園方面へ8km（約30分）
駐車場台数（料金）●2,531台（大型1,800円、普通車900円、二輪車250円）

住 所●立川市緑町3173 問い合わせ先●042-528-1751（自動応答システム）
開園時間●9:30～17:00（3月～10月）、9:30～16:30（11月～2月）
休 園 日●年末年始（12月31日・1月1日）、1月の第3月曜日から金曜日
入 園 料●大人450円、中学生以下 無料、シルバー（満65歳以上）210円
※日本庭園は開園30分前まで

武蔵野の豊かな緑と明るい樹林地の景観を基調として、四季折々の季節感を表現した「池泉回遊式庭園」で、戦後に造られた日本庭園としては首都圏最大級です。中心に大きな池を造り、西側の岸には「飲楓亭」、その南側には「清池軒」と、庭のたたずまいに対応した建築を配しています。「飲楓亭」は銅板葺き木造平屋建ての数寄屋建築で、お抹茶とお菓子をお楽しみいただけます。庭園内には盆栽苑が併設され、専門スタッフの解説

を受けながら、季節ごとに見頃の盆栽約50点をご鑑賞いただくことができます。

花 暦

4月中旬～5月上旬●シャガ、ツツジ、ボタン、イチハツ
6月●スイレン、ハナショウブ、アジサイ
7月～9月●キキョウ
10月●ホトトギス
10月下旬～11月●モミジ（紅葉）
11月～12月●サザンカ



紅葉の見頃を迎えた日本庭園



呈茶と和菓子を楽しめる飲楓亭

見どころ・特徴

四季折々の樹木

四季折々の樹木・草花の美、池と木々がみせる雄大な景観、伝統的な技法を用いた数寄屋造の建築、滝と水流が紡ぐ水の風景をお楽しみいただけます。

盆栽苑

盆栽苑では、国風盆栽展級の盆栽を中心に展示しており、盆栽に関する知識を深めたり盆栽職人が手入れしているところもご覧いただけます。

肥後熊本藩細川侯下御殿の面影を残す庭園

肥後細川庭園

URL <https://higo-hosokawa-bunkyo.jp/>



電車●東京メトロ有楽町線「江戸川橋」下車徒歩15分、東京メトロ東西線「早稲田」下車徒歩15分、都電荒川線「早稲田」下車徒歩5分
都営バス●「早稲田」下車徒歩5分、「ホテル椿山荘東京前」下車徒歩7分
文京区コミュニティバス●Bーぐる「目白台一丁目」下車徒歩5分

この地は幕末期、肥後熊本54万石の藩主細川越中守の下屋敷、抱屋敷でした。池泉回遊式の庭園は、春は紅白の梅の共演に始まり、山肌の一部が桜により色づいた後、新緑がまぶしい季節を迎えます。初夏には肥後花菖蒲などの花が見頃を迎え、秋にはハゼやモミジの紅葉が庭園に彩りを添え、冬の風物詩・松の雪吊り・・・と、四季折々の風情を楽しむことができます。大正時代の面影が残る建物「松聲閣（しょうせいかく）」2階にある展望所からは美しい庭園をご覧いただけます。また庭園に隣接する永青文庫は、細川家伝来の美術工芸品・歴史資料など9万4000点を所蔵し、テーマごとに展覧会を開催しています。

住所●文京区目白台1-1-22
問い合わせ先●03-3941-2010
開園時間●2月～10月
9:00～17:00（入園は16:30まで）
11月～1月
9:00～16:30（入園は16:00まで）
休園日●12月28日～1月4日
入園料●無料

花 暦

春●ウメ、サクラ、ヒゴツバキ、ヒゴジャクヤク
夏●ヒゴバナショウブ、ボダイジュ、ホオノキ
秋●ヒゴサザンカ、モミジ、ハゼノキ、エノキ
冬●松の雪吊り

見どころ・特徴

肥後熊本細川侯下御殿の面影を残す庭園

地形の変化を巧みに利用して、台地を山として立体的眺望を持っています。池泉回遊式庭園で、遊歩道の一部は踏み分け道のようになっています。やり水形式で、台地の湧き水を池に取り入れています。

熊本藩最後の御用絵師「杉谷雪樵」の絵を参考に、庭園の整備を行いました。

門外不出の肥後六花

江戸時代から品種改良を重ねてきた熊本独特の花、「肥後六花」のうち、肥後椿（つばき）、肥後芍薬（しゃくやく）、肥後花菖蒲（はなしょうぶ）、肥後山茶花（さざんか）は、庭園で見ることができます。



杉谷雪樵「小嵐山図」永青文庫蔵
明治27～28年頃、杉谷雪樵が描いた松聲閣の庭園。
写真提供：永青文庫

大正ロマンの魅力に触れる「松聲閣」

庭園内の建物は「松聲閣（しょうせいかく）」と呼ばれ、大正時代の雲間気を味わうことができます。2階は無料の展望室となっているほか、1階は集会室（要予約・有料）として利用されています。



朝倉流哲学を愉しむ。

台東区立朝倉彫塑館(旧朝倉文夫氏庭園)

国指定名勝「旧朝倉文夫氏庭園」

URL <https://www.taitogeibun.net/asakura/>



電車●JR山手線・京浜東北線・常磐線(快速)、京成線、日暮里・舎人ライナー「日暮里」下車 北改札口を出て西口から徒歩5分
台東区循環バス●東西めぐりん「谷中霊園入口」下車徒歩8分

住所●台東区谷中7-18-10 問い合わせ先●03-3821-4549

開館時間●9:30~16:30(入館は16:00まで)

休館日●月・木曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始

※展示替え等のため臨時休館することがあります

入館料●一般500(300)円、小・中・高250(150)円

※()内は20人以上の団体料金

※障害者手帳、療育手帳、精神障害者福祉手帳、特定疾患医療受給者証をお持ちの方、及びその介護者は無料です

※台東区内在住、在学の小中学生とその引率者は毎週土曜日無料です

朝倉彫塑館は、近代日本を代表する彫刻家 朝倉文夫(1883~1964)のアトリエと住居だった建物です。朝倉が自ら設計・監督し、昭和10年に完成しました。朝倉は昭和39年に世を去りますが、その遺志を受けた遺族により昭和42年より朝倉彫塑館として一般公開されてきました(昭和61年より台東区立)。平成13年には建物が国の有形文化財に登録、平成20年には建築と庭園が一体をなす芸術上、鑑賞上の価値が認められ、敷地全体が「旧朝倉文夫氏庭園」として国の名勝に指定されています。

花 暦

1月~2月●ツバキ、ウメ、スイセン、シャロバサボテン

3月~4月●ボケ、クンシラン、ユキヤナギ、トキワマンサク、ヒメウツギ、ナシ、ジュウニヒトエ

5月~6月●ユズ、シャリンバイ、サツキ、ザクロ、ユキノシタ、ウスレグサ、アジサイ、ホタルブクロ、アガパンサス

7月~8月●サルスベリ、タマスダレ、ムクゲ

9月~10月●サザンカ(一重)、チャノキ、トウヨウラン、ホトトギス

11月~12月●サザンカ(八重)、モミジ(紅葉) バラは四季咲き

見どころ・特徴

■ 五典の池

館の中央に位置する庭は、五典の池と呼ばれています。朝倉が熟慮を重ねて配した巨石と樹木が濃密な空間を作り出しています。朝倉はこの庭を自己反省の場として設計し、五つの巨石は五常(仁・義・礼・智・信)を造形化したといえます。

■ 屋上庭園

屋上庭園は、昭和初期の鉄筋コンクリート建築における屋上緑化の事例として貴重だと評価されています。ここは朝倉が主宰する朝倉彫塑塾の園芸実習場でした。園芸実習を通して自然を見る目と研ぎ澄まされた感覚を養うという朝倉の指導方針がうかがえます。

■ 建築

朝倉彫塑館の最大の特徴は建物と庭園の調和・融合にあります。お互いが共存関係にあり、それぞれの美的均衡を保っています。建物の随所に「対比」や「はずし」といった朝倉の美意識を見ることができます。

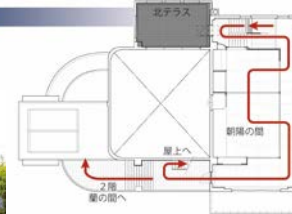


五典の池

五常

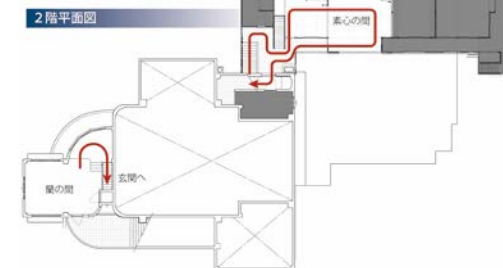
仁も過ぎれば弱^{じゃく}となる
義も過ぎれば頑^{かたくな}となる
礼も過ぎれば諂^{へつらい}となる
智も過ぎれば詐^{いつわり}となる
信も過ぎれば損^{そん}となる

3階平面図



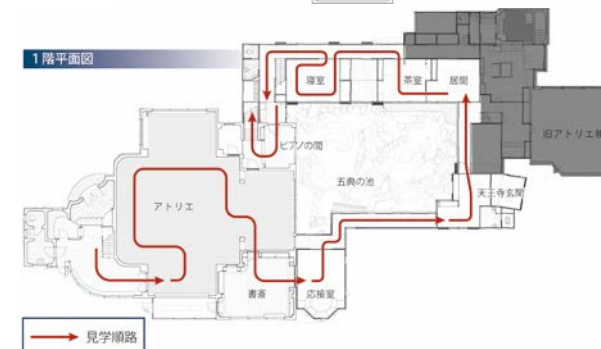
屋上

2階平面図

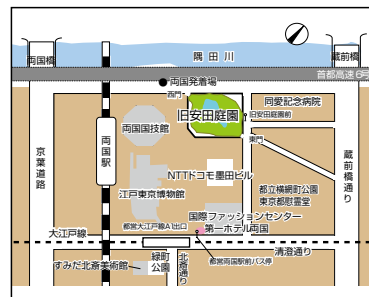


外観

1階平面図



安田善次郎が愛した庭園
きゅう やす だ てい えん
旧安田庭園
東京都指定名勝「旧安田庭園」



電車●JR総武線「両国」下車徒歩5分、都営大江戸線「両国」下車徒歩5分
都営バス●「旧安田庭園前」下車
区内循環バス●「刀剣博物館（旧安田庭園）・同愛記念病院」下車
東京水辺ライン●「両国発着場」下船徒歩5分

住 所●墨田区横綱1-12-1
問い合わせ先●03-5608-6291
開園時間●9:00～19:30
(10月～3月は9:00～18:00)
休 園 日●12月29日～1月1日
入 園 料●無料

旧安田庭園は、安田財閥の創始者である安田善次郎が明治27年に作庭した庭園で、平成8年3月に東京都指定名勝に指定されました。この庭園は、かつては隅田川の水を引いた汐入池を有する池泉廻遊式庭園でした。現在は、この汐入池を人工の施設で再現しています。また、庭園は、JR両国駅、都営両国駅から徒歩約5分とアクセスに優れ、周辺には国技館、江戸東京博物館などの文化施設、観光スポットもたくさんありますので、ぜひ、ご来園ください。



心字亭

花 暦

1月～2月●ツバキ類（ヤブツバキ）
3月～4月●ウメ、コブシ、ボケ、レンギョウ、ドウダンツツジ
5月～6月●ナツツバキ、シャリンバイ（低）、ツツジ類（オオムラサキ、サツキ）、アベリア（～11月）
7月～8月●サルスベリ、エンジュ、ムクゲ（～10月）、クチナシ
9月～10月●キンモクセイ、モミジ、イチョウ
11月～12月●サザンカ、カンツバキ
11月～2月●雪吊り

見どころ・特徴

■ 庭園の歴史

隅田川周辺にあった汐入庭園であり、明治時代の文献で述べられている姿を今日まで良くとどめており、明治時代の代表的な庭園のひとつです。

■ 庭園へのアクセス

JR両国駅・都営両国駅から徒歩約5分で、都営バス、区内循環バスの停留所は、庭園と隣接しています。また、近隣には、隅田川で運行している水上バスの両国発着場があり、交通アクセスの高い庭園です。

■ 庭園の周辺

庭園から、東京都慰霊堂の三重塔や東京スカイツリー®が観られます。また、庭園の周辺には、国技館、江戸東京博物館があり、観光、文化を体験できる施設が開設されているほか、平成28年11月には葛飾北斎に関連する「すみだ北斎美術館」が庭園から徒歩10分程度の場所に開設されました。



庭園の眺望



沢飛石



旧岡山藩下屋敷跡を整備した池泉回遊式庭園

池田山公園



住 所 ●品川区東五反田5-4-35
 問い合わせ先 ●03-3447-4676
 開園時間 ●7:30～17:00 (7月・8月は7:30～18:00)
 休 園 日 ●12月29日～1月3日
 入 園 料 ●無料

かつての大名下屋敷の一部を整備した小公園で、武蔵野台地末端の起伏に富んだ地形を生かして高台にはのぞき池方式の四阿、底部にはひょうたん池を配し、その周囲を巡る池泉回遊式庭園としています。また、野草類を各所に配植し、斜面にはサツキ・ツツジ類、周囲にはモミジ類があり四季を通して憩いの場となっています。



電車 ●JR山手線・東急池上線・都営浅草線「五反田」下車徒歩15分
 JR山手線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線「目黒」下車徒歩15分

見どころ・特徴

■ 石組みの流れ

ひょうたん池に流れ込む水路は巧妙な石組みでつくられ、深山溪流の滝の雰囲気を味わえます。

■ つつじの大刈込

池に面した東向き斜面はサツキ・ツツジの植込みとなっているため4～5月は一面が鮮やかな緋色・樺色・紫色などに覆われます。



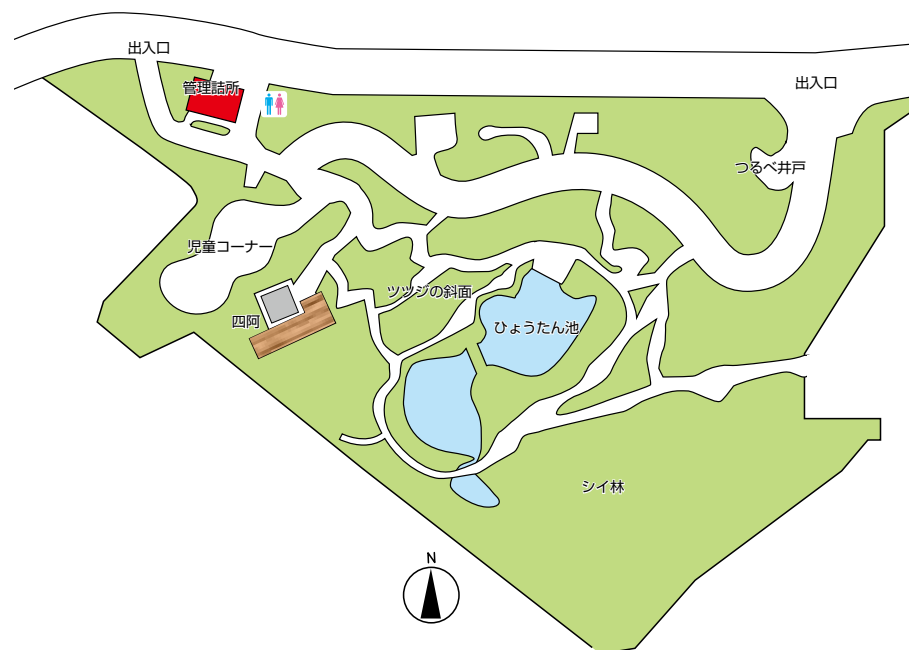
滝

花 暦

1月～2月 ●ウメ、スイセン
 3月～4月 ●カタクリ、ソメイヨシノ、エビネ、ツツジ
 5月～6月 ●サツキ、アジサイ、ハナショウブ、ザクロ
 7月～8月 ●ヒメシャラ、カノコユリ、サルスベリ
 9月～10月 ●ハギ、ショウキズイセン、ツワブキ
 11月～12月 ●モミジ (紅葉)、サザンカ、マツ (雪吊り)



ツツジ



穏やかな時間が流れる緑と水の別世界

目白庭園

URL <https://sites.google.com/mejirogarden.com/parkmanagement>



電車●JR山手線「目白」下車徒歩約5分、
JR山手線・埼京線・湘南新宿ライン「池袋」
下車徒歩約15分



季節を感じる催しに参加するのをお薦め

平成2年に豊島区が建設した池泉回遊式庭園で、日本の代表的な造園家 伊藤邦衛の作庭です。伝統の心とかたちを大切に日本人の自然観や美意識に調和した現代の庭です。池の周囲は、築山や、その頂から落ちる滝、溪谷など起伏と変化に富み、また四季折々の花木が植えられ小さいながらも見所に溢れています。

児童文芸雑誌「赤い鳥」にちなんで建てられた「赤鳥庵」では、茶会や演奏会なども開催されます。

住 所●豊島区目白3-20-18
問い合わせ先●03-5996-4810
開園時間●9:00～17:00
(夏季(7月・8月)は9:00～19:00)
休 園 日●第2・第4月曜日
(祝休日の場合は翌平日)
12月29日～1月3日
入 園 料●無料

花 暦

1月～2月●ツバキ、ウメ
3月～4月●シダレザクラ、ツツジ、ハナカイドウ
5月～6月●サツキ
7月～8月●サルスベリ
9月～10月●ハギ、ヒガンバナ、シュウメイギク
11月～12月●サザンカ、カンボケ

見どころ・特徴

■ 明るい現代の庭

明るくモダンな雰囲気の中にある日本庭園。風が渡ると水面に映った木々が優しくゆめく池の周囲を回遊すれば、眼前の風景は様々に変化し、その多彩な表情で飽きることがありません。滝の音を聞き、池に浮かぶ「六角浮見堂」で休むこともできます。

■ 石組み

峻険な山と滝と溪谷、流れと池を表現する石組材料として、山梨県牧丘産を使用。ひとつの山の岩盤から取り外した個々の石の性格を活かした石組みは、単に石材を寄せ集めた庭石とは違った大自然を感じる景観を作り出しています。

■ 赤鳥庵

数寄屋建築の茶室からの庭の眺めは、建物に居ながら庭と一体感を感じます。「目白」のくずし文字を組み込んだ欄間や照明器具などに意匠を感じます。茶会以外に多目的に使用することが可能です。



秋には鮮やかな紅葉を楽しめる



庭園内は多くの石組みが配されています



昭和初期の庭園様式が残る書院庭園

山本亭

葛飾区登録有形文化財「山本亭附庭園」、東京都選定歴史的建造物「葛飾区山本亭」

URL <https://www.katsushika-kanko.com/yamamoto/>



住 所 ●葛飾区柴又7-19-32
問い合わせ先 ●03-3657-8577
開園時間 ●9:00～17:00
休 園 日 ●第3火曜日（祝休日の場合は翌平日）
12月の第3火曜日から木曜日
入 館 料 ●100円
※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方等は無料



電車 ●京成電鉄金町線「柴又」駅徒歩8分、北総鉄道「新柴又」駅徒歩12分
バス ●京成バス・小岩駅～金町駅「柴又帝釈天」下車徒歩7分
車 ●近隣に柴又公園駐車場あり（首都高四つ木出口より約20分）。
駐車場台数（料金） ●柴又公園駐車場：普通車台数／192台 ￥500／1回
大型車（バス）台数／7台 ￥2000／1回
※ただし、身体障害者手帳、愛の手帳または療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持する方が運転又は同乗する車両の場合、駐車料金が免除となります。

地元ゆかりの山本工場（カメラ部品製造）の創立者である山本栄之助翁の自宅でした。関東大震災後、当地に移り住み、以降四代にわたって使われていたものを、昭和63年に葛飾区が取得し、平成3年4月から一般公開しています。伝統的な書院造と洋風建築を複合した近代和風の建物と、純和風の庭園とが見事な調和を保っており、その文化的価値は、国内はもとより海外においても高く評価されています。

見どころ・特徴

■ 主庭

270坪の広さがあり、縁先には池泉を、背後には緑濃い植え込みと築山を設けて滝を落とすという典型的な書院庭園です。昭和初期における庭園様式を現在まで残した稀有な例です。

■ 鳳凰の間

亭内で唯一の洋間であり、白漆喰仕上げの高い天井や寄木を用いたモザイク模様の床のほか、大理石のマントルピース、ステンドグラスが見どころです。

■ 喫茶

別途有料で喫茶メニューがあり、庭園を眺めながら、ゆっくりお過ごしいただけます。



室内・縁台

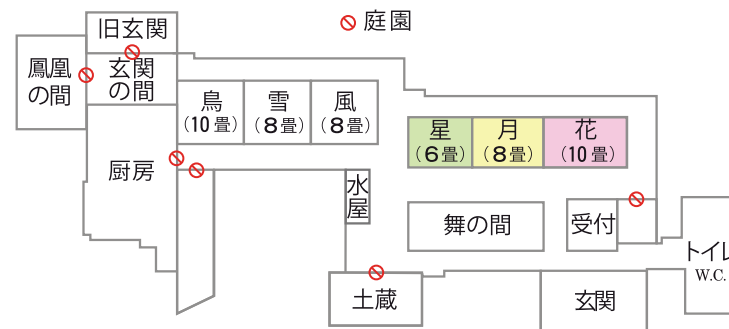


鳳凰の間



喫茶

| 花 暦 | |
|-----------|------------|
| 4月中旬～5月中旬 | ●ツツジ |
| 4月下旬～5月中旬 | ●フジ |
| 5月下旬～6月上旬 | ●サツキ |
| 5月～10月 | ●スイレン |
| 6月～7月 | ●ナツツバキ |
| 8月～10月 | ●ハギ |
| 10月～12月 | ●ツワブキ、サザンカ |
| 12月～4月 | ●ツバキ |



※庭園及び○部分は立ち入り禁止

町田薬師池公園四季彩の杜
やく し いけ こう えん
薬師池公園

東京都指定名勝「福王寺旧園地（薬師池公園）」

URL <https://www.city.machida.tokyo.jp/bunka/park/shisetu/park01.html>



住 所 ●町田市野津田町3270
問い合わせ先 ●042-724-4399 (町田市公園緑地課)
※お問い合わせは平日のみ
開園時間 ●6:00～18:00 (6月～8月は6:00～19:00)
※駐車場利用時間も同じです
休 園 日 ●年中無休
入 園 料 ●無料



池のほとりの桜



バス ●小田急線町田駅北口 (POPビル先)
21番乗り場から本町田經由鶴川駅行き、または本町田經由野津田車庫行きバスで「薬師池」か「薬師ヶ丘」下車

見どころ・特徴

■ 古民家

江戸時代の古民家2棟 (旧永井家住宅と旧荻野家住宅) が移築されていて、当時の暮らしなどを感じることができます。

■ 休憩所

池のほとりの「やくし茶屋」では甘酒、抹茶、だんご等が販売されています。

■ 池の周辺

四季を通じて花や風景が楽しめます。



梅林

花 暦

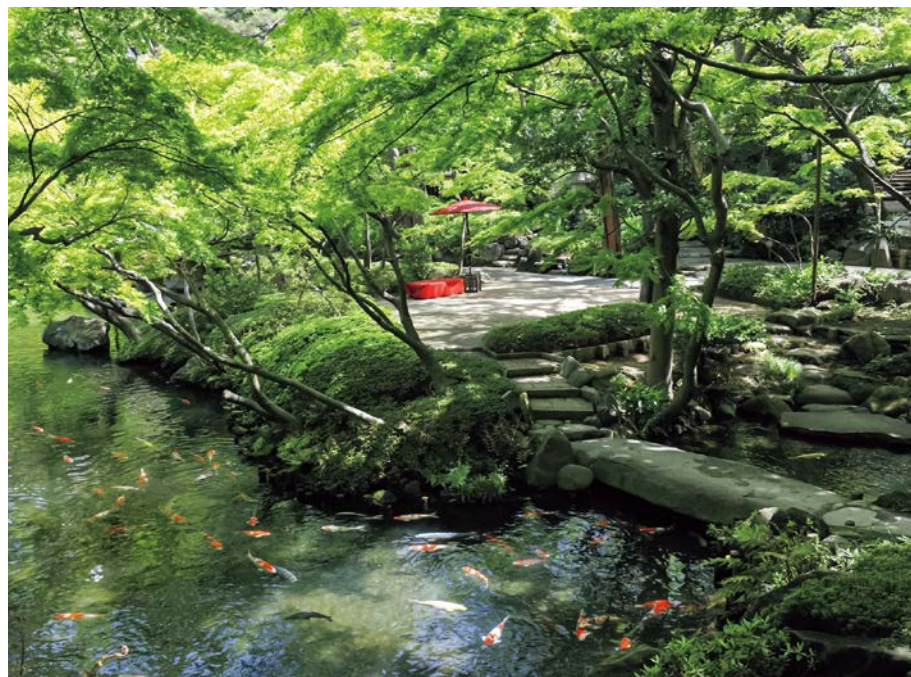
2月下旬～3月下旬 ●梅
3月～5月 ●椿
4月上旬～4月下旬 ●桜
4月下旬～5月上旬 ●藤
5月下旬～6月下旬 ●花しょうぶ
5月下旬～7月下旬 ●あじさい
7月下旬～8月中旬 ●蓮
11月下旬～12月中旬 ●紅葉
12月下旬～2月下旬 ●雪吊り



江戸の自然を今に残す池泉回遊式庭園

はっ ぽう えん 八芳園

URL <https://www.happo-en.com>



住 所 ●港区白金台1-1-1
問い合わせ先 ●0570-064-128 (代表)
開園時間 ●10:00~21:00
※ご宴席状況により異なります。
休 園 日 ●年末年始・夏季休業期間
入 園 料 ●無料

四方八方どこから見ても美しいことから、その名がつけられた八芳園は江戸の自然を今に残す大庭園です。東京白金台の丘陵と、小川跡を匠に活かした約1万坪の広大な敷地には、歴史的な建物や遺物、白梅・紅梅や河津桜・吉野桜・しだれ桜・八重桜、さつき・つつじ・新緑・紅葉と一年を通して四季の移り変わる庭園の景色を愉しむことができます。



電車 ●都営三田線・東京メトロ南北線「白金台」下車 2番出口より徒歩1分、JR山手線「目黒」「品川」下車 タクシーで5分
都営バス ●(品93) 目黒駅前〜大井競馬場前「白金台駅前」下車徒歩1分
車 ●首都高速「目黒」出口より左折900m
駐車場台数(料金) ●約100台(無料)

見どころ・特徴

■ 桜

河津桜からはじまり、吉野桜・しだれ桜・八重桜と長く桜をご覧頂くことができます。

■ 水亭と池

約200匹の鯉が泳ぐ池を眺める水亭は、東京にいることを忘れさせてくれます。

■ 白金台の丘陵

高低差があるので、眺める位置によって見える景色が変わり、四季を通して愉しむことができます。

花 暦

1月下旬~2月上旬 ●梅(白)
1月下旬~2月下旬 ●河津桜
3月下旬~4月中旬 ●吉野桜、八重桜
3月下旬~4月上旬 ●しだれ桜
4月上旬~中旬 ●つつじ
4月中旬~5月上旬 ●センダン
5月下旬~6月上旬 ●サツキ
6月中旬~7月中旬 ●紫陽花
7月上旬~10月上旬 ●さるすべり
10月上旬~中旬 ●キンモクセイ
12月下旬~1月中旬 ●さざんか
11月下旬~12月中旬 ●紅葉
12月中旬~1月中旬 ●寒椿
12月中旬~3月上旬 ●椿
12月下旬~1月中旬 ●梅(赤)

※気候変動により異なる場合がございます。



池に映りこむしだれ桜も見どころの一つ



500年を超える盆栽も並ぶ盆栽通り



明治時代、田中平八が建てた茶室を移築

四季に彩られた約17,000㎡の都心のオアシス。

ね づ び じゅつ かん 根津美術館

URL <https://www.nezu-muse.or.jp>



住 所 ●港区南青山6-5-1 問い合わせ先 ●03-3400-2536 オンライン日時指定予約制
開館時間 ●10:00～17:00 (入館は16:30まで)
休 館 日 ●月曜日 (祝休日の場合は翌日)、展示替え期間、年末年始
入 館 料 ●大人1,300円～、学生 (高校生以上) 1,000円～ (庭園の入場も、美術館入館料が必要)

東武鉄道社長などを務めた実業家 初代根津嘉一郎の遺志により、1941年南青山に開館した根津美術館は、国宝7件、重文93件を含む約7,600件の日本と東洋の古美術品を擁します。約17,000㎡の緑豊かな日本庭園と隈研吾設計の展示棟が一体となり、独特の静謐な雰囲気醸し出します。嘉一郎の私邸時代の面影を残す庭園には4棟の茶室が点在し、初夏の燕子花、秋の紅葉など四季折々に見どころも多くあります。



電車 ●東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道」下車A5出口から徒歩約8分
都営バス ●(渋88) 渋谷駅前～新橋駅前「南青山6丁目」下車徒歩5分

見どころ・特徴

■ 地形

コレクションの礎を築いた初代根津嘉一郎は、池に向かい下るこの地の地形を気に入り、1906年に土地を求め、私邸と庭園を築きました。第二次世界大戦の空襲からの復興を経た現在も、池を中心とした当時の地形が活かされています。

■ カキツバタ

所蔵品「燕子花図屏風」(国宝)は、庭園の池にカキツバタが咲く毎年4月半ばから5月半ばの間のみ展示しています。尾形光琳の傑作絵画と、自然の調和をぜひお楽しみください。

■ 紅葉

すべてを茶室の露地のように、という二代目嘉一郎の考えで整備された現在の庭園は、秋の紅葉も見所です。細い小路を進めば茶室「披錦斎」のある紅葉台や池を中心に都会の真ん中とは思えない風景に出会えます。



ホールから庭園を臨む

花 暦

1～2月 ●ウメ、アズキ
3～4月 ●キンカチャ、キフジ、ヒュウガミズキ、サクラ、ツツジ、ノスミレ、アセビ、フジ、センダン、カキツバタ (4月下旬)
5～6月 ●カキツバタ (5月初旬)、エゴ、アジサイ、ヤマボウシ
7～8月 ●ヤマユリ、ヒメシャラ
9～10月 ●ホトトギス、キンモクセイ
11～12月 ●サザンカ、ツバキ、ツワブキ、モミジ、イチョウ



庭のカキツバタ (5月初旬)



現代建築と現代アートに彩られた日本庭園

毛利庭園

東京都指定旧跡「乃木大将誕生地」「毛利甲斐守邸跡」

URL <http://www.roppongihills.com/green/>



住 所 ●港区六本木6-10-1他
問い合わせ先 ●03-6406-6000
開園時間 ●7:00~23:00
休 園 日 ●なし
入 園 料 ●無料



電車 ●東京メトロ日比谷線「六本木」下車1C出口徒歩3分、都営大江戸線「六本木」下車3出口徒歩7分
バス ●六本木ヒルズ森タワー1F「六本木ヒルズ」バスのりば、けやき坂通りテレビ朝日前・「六本木けやき坂」バスのりば、六本木通り沿い「六本木駅前」「EXシアター六本木前」バスのりば
車 ●首都高速「渋谷」出口より 10分（渋谷方面から）、首都高速「外苑」出口より 15分（杉並、新宿方面から）、首都高速「霞が関」出口より 10分（池袋方面から）、首都高速「飯倉」出口より 10分（目黒、羽田、品川方面から）、首都高速「芝公園」出口より 10分（上野、千葉、芝公園方面から）
駐車場台数（料金） ●普通車台数／約2,760台 有料（全日0:00~24:00）

江戸時代、毛利家の大名屋敷とその庭園があった地に、毛利庭園は誕生しました。大名屋敷のなごりを今に伝える一方、庭園内には現代アートが点在します。六本木ヒルズの現代建築も相まって、伝統と新しさが融合する他では見られない独特の景観が生まれています。庭園中央にある毛利池には1994年にスペースシャトル内で誕生した「宇宙メダカ」の子孫が泳ぎ、毎年カルガモもやって来る等、新たな歴史も始まっています。

花 暦

3月 ●ソメイヨシノ
4月 ●ツツジ、ヤエヤマブキ、オオデマリ、ツバキ、シャガ、ハナミズキ、ソメイヨシノ
5月 ●エゴノキ、ギボウシ、ヤマモミジ、スイレン、ハナショウブ、シャリソバ
6~7月 ●キンシバイ、ガクアジサイ、クチナシ、ヤマモモ、ガマズミ、ギボウシ
8~9月 ●ヤブラン、リュウノヒゲ、ミズヒキ、キンモクセイの花
10月 ●サザンカの花、モッコク、アオハダの結実、カシ類のドングリ
11月 ●ツバキの花、ソヨゴ、センリョウ、マンリョウ、ガマズミの結実



紅葉



冬景色

見どころ・特徴

美しい池と緑のある日本庭園

敷地の半分がオープンスペースである六本木ヒルズで、とりわけ贅沢な空間、と言える「毛利庭園」。

面積4,300平方メートルという広大な敷地に、池を中心にし、滝、溪流、川のせせらぎや、桜、イチョウといった木々を配し、四季折々に変化する木々や植物の表情を感じることができる、回遊式の日本庭園となっています。

都会の中にある贅沢なこの空間で、日本の四季や歴史を感じながら、ゆっくりと散策してみたいいかがでしょうか。



～世界をもてなす、日本がある。～

ホテル椿山荘東京

国登録有形文化財「椿山荘三重塔」「椿山荘残月」

URL <https://hotel-chinzanso-tokyo.jp/>



電車●東京メトロ有楽町線「江戸川橋」下車
1a出口徒歩約10分
バス●JR山手線目白駅改札前の横断歩道を
渡り、左手のバス停5番乗場「目白駅前」より
都営バス新宿西口行きにて「ホテル椿山荘
東京前」下車（約10分）
車●首都高速5号池袋線「早稲田」出口または
「東池袋」出口から
駐車場台数（料金）●収容台数400台（2時
間未満30分500円、2時間以上より30分
400円。）※ホテルご利用による駐車料金
のご優待あり

住 所●文京区関口2-10-8
問い合わせ先●03-3943-1111（代表）
開園時間●6:00～23:00
休 園 日●年中無休
入 園 料●ホテルご利用の方無料

明治の元勳・山縣有朋が約140年前に
築庭。かつては「つばきやま」と呼ばれた椿
の自生する景勝地であったことから、有朋
が「椿山荘」と名付けました。起伏に富み、
その地形を活かした水流の瀑（滝）などを
配しており、近代日本庭園の傑作と評価さ
れています。現在は、冬から春にかけて約
100種2,300本の椿が咲き、春は桜、初夏
には蛍が舞い、11月下旬頃からは一ヶ月ほ
ど庭園が紅葉で赤く色づきます。動植物の
ほか、伊藤若冲下絵の羅漢石などの石造
美術品や仏塔などの木造建築物といった
史跡も配されています。夜は「千の光のライ
トアップ」を実施中。



湧水が自噴する井戸「古香井」。蛍が舞うエリア

花 暦

春●桜、つつじ、かきつばた、夏みかんの花、
シャガ
夏●あじさい、百日紅
秋●秋の七草、紅葉
冬●山茶花、梅、椿、早咲き桜

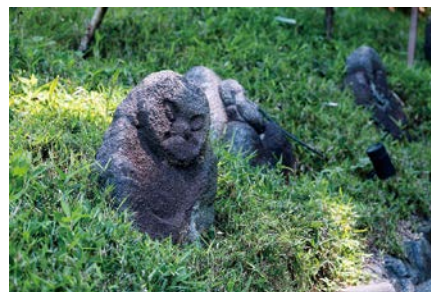
見どころ・特徴

■ 戦火もくぐりぬけた仏塔や神社

仏塔の三重塔をはじめ、茶室の残月などの
木造建築物があります。8棟の日本家屋は、
和食レストランの個室などになっており、会
席料理や石焼会席を楽しめます。

■ 七福神（石造）めぐりも楽しめる

伊藤若冲下絵の羅漢石や般若寺式石灯籠
など、石造美術品も多く点在しています。



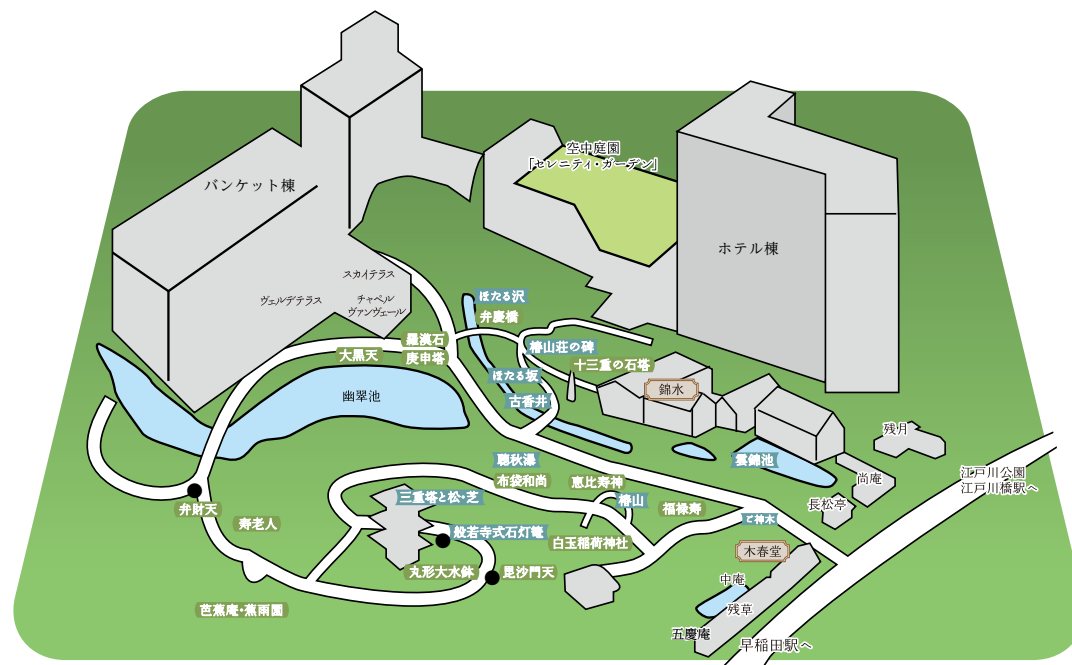
京都・石峰寺の五百羅漢のうち約20体がここに

■ 水や起伏を活かした “自然主義”の庭園

起伏に富んだ造形の庭園で、日当たり等が
異なり、同じ品種の木々や草花でも、植栽さ
れている位置で開花や葉の色づくタイミング
が違います。また、庭園の中を秩父山系の湧
水が巡っており、滝や池、沢など水系が美し
いのも特徴です。



春を告げる木の「椿」と春の象徴の「桜」が同時に咲くこ
とも



大正・昭和期の山の手住宅の和洋折衷庭園
ぎゅう やす だ くす お てい てい えん
旧安田楠雄邸庭園

東京都指定名勝「旧安田楠雄邸庭園」

URL http://www.national-trust.or.jp/protection/index.php?c=protection_view&pk=1491201890



住所 ●文京区千駄木5-20-18
問い合わせ先 ●03-3822-2699 (公開日のみ)
開館時間 ●10:30~16:00 (入館は15:00まで)
休館日 ●月・火・木・金・日曜日
夏季休館・冬季休館あり
入館料 ●大人500円、中高生200円、小学生以下無料
(公財) 日本ナショナルトラスト会員無料
※イベント時料金変更の場合あり

電車 ●東京メトロ千代田線「千駄木」下車1番出口から徒歩7分
JR山手線「日暮里」「西日暮里」下車徒歩15分
バス ●B-ぐる19番「特養ホーム千駄木の郷」から徒歩1分



「豊島園」の創始者で実業家の藤田好三郎によってつくられ、大正8年(1919)に家屋が竣工し、その後庭園が完成。大正12年の関東大震災後、安田善四郎(旧安田財閥の創始者安田善次郎の女婿)が買い取り、平成7年に善四郎長男の楠雄氏が亡くなるまで大切に住み続け

られました。平成8年に公益財団法人日本ナショナルトラストに寄贈され、平成19年から一般公開を開始。建物と庭園とが共に関東大震災と第二次世界大戦の被災を免れ、今日まで受け継がれてきた貴重な文化財となっています。

見どころ・特徴

雁行式の建物から望む庭園

当初約1,800㎡であった(現在は約1,500㎡)敷地は東西に長く、雁行式に配した日本家屋に沿って、前庭・主庭・中庭・坪庭の

4つの庭園が配されています。特に南側の主庭は滝石組を含む東西16mある“流れ”を主景とし、効果的に配された樹木が絵画的な美しさを添え、各室からはそれぞれ異なる景色を楽しむことができます。



シダレ桜を2階から望む



建物を心地よい風が通る



紅葉も楽しめる

幕府の御薬園を引き継ぐ東京大学の植物園

小石川植物園

国指定名勝・史跡「小石川植物園」

URL <https://www.bg.s.u-tokyo.ac.jp/koishikawa/>



住所 ●文京区白山3-7-1
開園時間 ●9:00～16:30 (入園は16:00まで。温室公開は10:00～15:00)
休園日 ●月曜日 (祝休日の場合は翌平日)
入園料 ●大人 (高校生以上) 500円、
小人 (中学生、小学生) 150円、
団体 (20人以上) 割引あり



電車 ●都営三田線「白山」下車 A1出口 徒歩約10分
東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」下車 出入口1 徒歩約15分
都営バス ●(上60) 大塚駅～上野公園線「白山2丁目」下車 徒歩約3分

徳川幕府の御薬園の歴史を引き継ぐ
東京大学附属の植物園で、植物学の研究
教育の拠点となっています。16ヘクタール
の園地は緑に覆われ、温室、分類標本園
等の施設、台地、傾斜地、低地、泉水地
などの地形を利用して、野生植物を主に
4000種以上が植栽されています。また、
日本庭園、旧養生所の井戸、精子発見の
イチョウ、ニュートンのリンゴなど、長い
歴史を物語る数多くの由緒ある植物や遺
構が今も残されています。

花 暦

1～2月 ●ツバキ、ウメ、サザンカ、カンザクラ、カンボケ
3～4月 ●コブシ、カンヒザクラ、ソメイヨシノ、ツツジ、サンシュユ、ハンカチノキ、フジ
5～6月 ●ユリノキ、ヒトツバタゴ、サツキ、ウツギ、アジサイ、ハナショウブ
7～8月 ●ネムノキ、ノカンゾウ、キョウチクトウ、サルスベリ、ニンジンボク、キツネノカミソリ、ムクゲ
9～10月 ●ハギ、ヒガンバナ、シュッコンソバ、シュウメイギク、フクロミノモクゲンジ、パンパスグラス、スイフヨウ
11～12月 ●カリン、サザンカ、カンツバキ、ロウヤガキ、イロハモミジ、コダチダリア



見どころ・特徴

■ 日本庭園

日本庭園は第5代將軍徳川綱吉の幼児の居邸であった白山御殿の庭園に由来し、自然の地形をたくみに利用しており、おとなしい石組みや地割りのなかにすぐれた技術がうかがわれ、江戸時代の代表的な庭園の一つであるといわれています。また、日本庭園の一角にある梅林には、ウメ園芸品種約50種100株が植えられています。

■ 巨木並木

オオバボダイジュやスズカケノキからなる巨木の並木があります。これらは明治時代に街路樹用樹木として試験的に植えられたものです。

■ イロハモミジ並木

11月中旬頃からイロハモミジの並木が赤く色づき始めます。散策にもぴったりです。



イロハモミジ

江戸最後の名庭
すい けい えん
邃溪園

東京都指定名勝「題経寺邃溪園」

URL <http://www.taishakuten.or.jp>



住 所 ●葛飾区柴又7-10-3
問い合わせ先 ●03-3657-2886
開園時間 ●9:00～16:00
休 園 日 ●12月28日～1月3日（庭園のみ休園）
入 園 料 ●庭園・彫刻ギャラリー共通
大人400円、子供（小・中学生）200円
団体20名以上は大人300円

柴又帝釈天の名称で知られる題経寺。邃溪園の名は、庭園の滝の風情が幽邃でもの静かであることによります。関東の高名な造園師、永井楽山翁によって昭和40（1965）年より大改修が始まり昭和43（1968）年に完成しました。昭和59（1984）年、庭の周りに回廊を設けてご参拝の方も様々な視点から庭園を鑑賞できるようになりました。本園は本来、大客殿（賓客専用）からの座観式の視点で楽山師により作庭されたもので、大客殿と庭園はともに昭和4（1929）年に竣工しました。令和5（2023）

年3月に大客殿が追加指定され、庭園全体が指定名勝になりました。



電車 ●京成線「柴又」下車徒歩3分
北総公団線「新柴又」下車徒歩12分
バス ●JR小岩駅より京成バス（金町行）に乗り15分程、「柴又帝釈天」下車
JR金町駅より京成バス（小岩行）に乗り5分程、「柴又帝釈天」下車
車 ●蔵前通りまたは水戸街道から 柴又街道に入り、「柴又帝釈天前」交差点を江戸川河川敷方向へ
駐車場台数（料金） ●約40台（15分100円）

見どころ・特徴

■ 回廊式庭園

大客殿前に広がる池泉式庭園。庭園を囲むように設けられた屋根付きの回廊から鑑賞できます。

花 暦

1～2月 ●ツバキ、ウメ
3～4月 ●ソメイヨシノ、シダレザクラ、ツツジ
5～6月 ●サツキ、アヤメ、アジサイ
7～8月 ●ハス
9～10月 ●ハギ
11～12月 ●イチョウ、モミジ



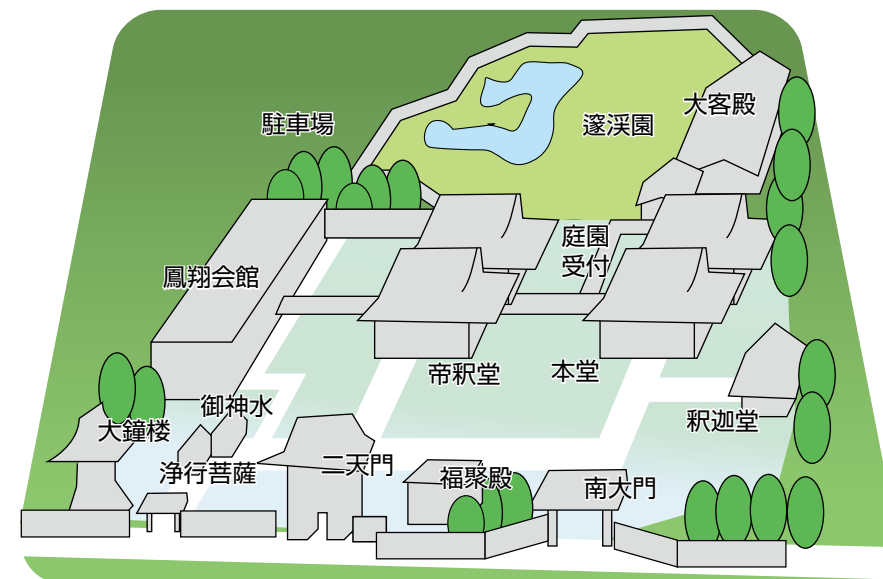
邃溪園の名に由来する滝の風情



アヤメと庭園を囲む回廊



大客殿全景



小さな散歩 四季の庭園
けい おう も ぐさ えん
京王百草園

日野市指定文化財跡・名勝「百草園（松連寺跡）」

URL <http://www.keio-mogusaen.jp/>



電車●京王線「百草園」下車徒歩10分
または「聖蹟桜ヶ丘」「高幡不動」よりタク
シー10分



紅葉まつり

住 所●日野市百草560
問い合わせ先●042-591-3478
開園時間●9:00～17:00（11月・12月は16:30まで）
休 園 日●水曜日（祝休日の場合は翌平日）、
12月30日～1月3日 なお催事期間中は無休
入 園 料●大人500円、小人100円
（25名以上の団体・障害者割引あり）
割引大人400円、割引小人80円

江戸時代の享保年間（1716年～）、小田原城主大久保侯の室であった寿昌院慈岳元長尼が徳川家康の長男・信康追悼のため当地に松連寺を再建しました。その後、時代を経て作られたのが京王百草園です。秋には美しい紅葉が堪能でき、また梅の季節には約50種500本の梅たちが咲き競い、園内の華やかさも最高潮に達します。2月上旬・3月中旬には梅まつり、4月下旬～5月上旬は春の百草園まつり、11月は紅葉まつりが開催され、お客様でにぎわいます。

花 暦

1月●ロウバイ、日本水仙
2月●各種梅、マンサク、フクジュソウ、椿
3月●各種梅、サンシュユ、ボケ、アセビ
4月●カタクリ、ミツバツツジ、ツツジ、日本桜草
5月●ノダナガフジ、牡丹、シャクヤク、サツキ
6月●各種アジサイ
9月●マンジュシャゲ
11月●各種紅葉
12月●サザンカ

見どころ・特徴

■ 眺望

当園は多摩丘陵の東面に位置し、見晴しは海拔143mの所にあります。2月・3月にはここから梅の花園の中に茅葺屋根の松連庵が浮かび上がる風景が楽しめ、また天気の良い日は新宿の都庁をはじめとした高層ビル、東京スカイツリー®も一望できます。

■ 茅葺屋根と茶室

茅葺屋根の松連庵付近には心字池を中心にしたのどかな風景が続きます。ここには梅や紅葉・ノダナガフジ等が植栽されており、本格的な茶室・三棟庵も佇んでいます。イベント時には茶会などが開催されます。

■ 豊かな自然

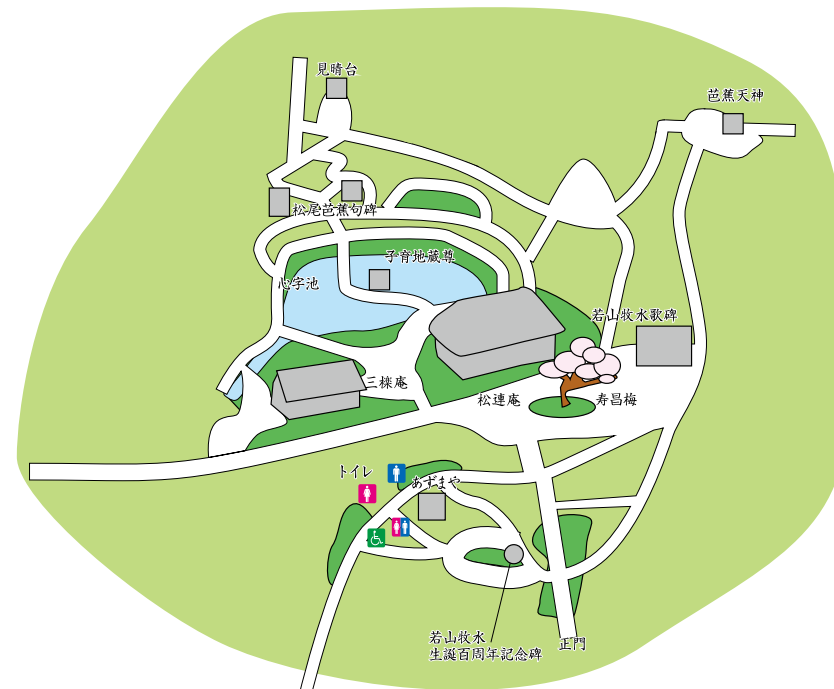
周囲は自然に恵まれた環境で、園内にはフクロウやタヌキ・アナグマも生息しています。また敷地の半分近くは雑木林になっていて環境の保全にも一役買っています。



梅まつり 梅



春の百草園まつり 藤



フラワーカレンダー

春

サクラ (3~4月)

(ソメイヨシノ、サトザクラ、シダレザクラ等)



1 2 3 4 5 7 8 10 11 12
13 14 15 18 19 21 22 23 24 25
27 28

カタクリ
(3~4月)



6 9 18 29

ツツジ (3~6月)

(ミツバツツジ、ドウダンツツジ、サツキ等)



1 2 4 7 8 9 10 11 12 13
14 16 17 18 19 20 22 23 24 25
27 28 29

ハナモモ
(3~4月)



1 9 12

フジ
(4~5月)



1 2 3 4 6 9 10 11 12 14
20 21 23 27 29

ボタン
(4~5月)



8 14 29

夏

ハナショウブ
(5~6月)



1 3 6 7 11 14 15 18 21 24
27

ユリ
(6~8月)



5 10 11 18 23

アジサイ
(6~8月)



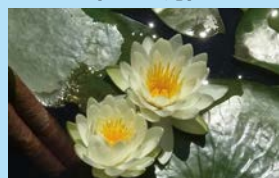
1 2 4 5 6 7 9 10 11 12
14 15 16 18 21 22 23 24 25 27
29 28

キツネノカミソリ
(7~8月)



5 27

スイレン・ハス
(6~8月)



3 14 20 21 28

フヨウ
(8~9月)



1 9 12 27

秋

ハギ
(9~10月)



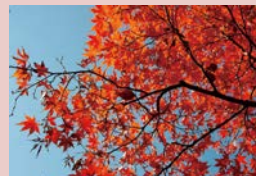
1 2 4 6 7 9 11 12 18 19
20 25 27 28

ヒガンバナ
(9~10月)



1 2 3 4 7 9 11 12 19 27

紅葉(モミジ、ハゼノキ等)
(10~12月)



1 2 3 4 5 7 8 9 10 12
13 14 15 16 17 18 19 20 21 22
23 25 27

キンモクセイ
(9~10月)



1 2 4 10 11 12 13 17 22 23
24

サザンカ
(10~12月)



1 4 6 7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20 22 23 24
25 27 29

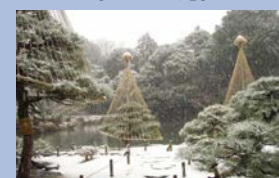
黄葉(イロハ)
(11~12月)



1 4 5 8 10 12 13 17 22 23
28

冬

雪吊り
(11~2月)



1 2 3 4 6 7 8 9 12 14
15 17 18 19 20 21

スイセン
(1~2月)



1 2 3 5 6 7 10 12 16 18
29

ロウバイ
(12~2月)



1 2 3 4 9 11 12 29

カンザクラ
(1~2月)



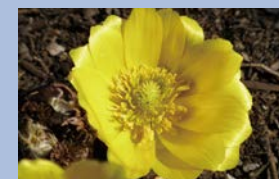
11 12 25 27

ウメ・ハクバイ
(1~3月)



1 2 3 4 6 7 8 9 10 11 12
13 15 16 17 18 19 21 22 23 25 27
28 29

フクジュソウ
(2~3月)



3 5 6 7 9 11 12 29

【凡例】 ※ 花期は花の種類などにより異なります。詳細は、各庭園のページをご確認ください。

- | | | | | |
|------------|-------------|--------------|----------|-------------|
| 1 浜離宮恩賜庭園 | 7 清澄庭園 | 13 東京国立博物館 | 19 池田山公園 | 24 毛利庭園 |
| 2 旧芝離宮恩賜庭園 | 8 旧古河庭園 | 14 国営昭和記念公園 | 19 目白庭園 | 25 ホテル椿山荘東京 |
| 3 小石川後楽園 | 9 殿ヶ谷戸庭園 | 15 日本庭園 | 20 山本亭 | 26 旧安田楠雄邸庭園 |
| 4 六義園 | 10 東京都庭園美術館 | 15 肥後細川庭園 | 20 薬師池公園 | 27 小石川植物園 |
| 5 旧岩崎邸庭園 | 11 皇居東御苑 | 16 台東区立朝倉彫塑館 | 22 八芳園 | 28 逵溪園 |
| 6 向島百花園 | 12 新宿御苑 | 17 旧安田庭園 | 28 根津美術館 | 29 京王百草園 |